

ウェルネオシュガー株式会社

サステナビリティ報告書 2024

Sustainability Report 2024



更なる高みを目指して ～新理念体系とサステナブル・ビジョン2030～



ウェルネオシュガー株式会社
代表取締役会長 仲野 真司
(サステナビリティ推進委員長)

新生ウェルネオシュガーグループとして

2023年1月に日新製糖と伊藤忠製糖の経営統合により誕生したウェルネオシュガーは、2024年10月の完全統合を経て、名実ともに一つの会社となりました。この新生ウェルネオシュガーを中心とするウェルネオシュガーグループでは、「様々なステークホルダーとの信頼関係のもと、事業活動を通じて、持続可能な社会の発展に貢献していく」ことを行動規範・行動指針の中核に置いています。また、当社グループでは、2028年3月期までの中期経営計画「WELLNEO Vision 2027」において、「サステナビリティ経営」を重点戦略の一つに掲げ、新体制のもとでサステナビリティ経営の推進に取り組んでいます。

新しい経営理念体系とサステナビリティ経営

私たちは、生活必需品である砂糖の安定供給という使命を果たし、お客様のもとへおいしさと健康に役立つ製品・サービスをお届けする事業活動を通して、様々なステークホルダーの皆さまの“Well-being”に貢献する、という想いを込めて、「糖のチカラと可能性を切り拓き“Well-being”を実現する」というパーパスを掲げています。

そして、新生ウェルネオシュガーの発足を機に、このパーパスのもとで私たちが目指す姿をビジョンとして策定するとともに、その実現に必要な判断・行動の基準をバリューと位置付け、パーパス・ビジョンの実現に向けて全役職員がバリューに沿った行動をとることを約束事として決めました。この新しい経営理念体系のもと、一人ひとりが日々の業務の中で、「挑戦」「多様性」「持続可能性」という3つのバリューに基づく行動を実践していくことこそ、私たちのサステナビリティ経営の重要なドライバーであると考えています。

マテリアリティの特定

当社グループでは、サステナビリティ経営の視点で向き合うべき重要課題を洗い出し、5つのマテリアリティを特定しています。5つのマテリアリティにはそれぞれ目指すゴールを設定し、そのすべてのゴールイメージに“Well-being”を据えることで、私たちのパーパス実現への想いを当社グループの日々の活動の中にダイレクトに組み込む形としています。

- **食と健康の課題解決による生活品質の向上**
～おいしさと健康の両立に役立つ製品・サービスの提供によって消費者の“Well-being”に貢献
- **多様な人材が活躍できる職場の実現**
～職場環境の整備やエンゲージメント向上施策を通じて従業員の“Well-being”を実現
- **安全で高品質な製品の安定供給**
～安全で高品質な製品の安定供給によってお客様の“Well-being”を実現
- **従業員やサプライチェーンの人権尊重**
～従業員やサプライチェーンの“Well-being”を実現
- **自然との共生**
～自然環境の“Well-being”に貢献

サステナビリティ推進委員会に分科会を設置

サステナビリティ経営の実効性を高めるため、サステナビリティ推進委員会の傘下に、各マテリアリティに対応する5つの分科会を設置しました。これらの分科会は、各分野の担当組織のメンバーに加えて社内公募メンバーが幅広く参画し、部門横断的な活動を展開しています。いずれの分科会においても、担当部門の枠に捉われない多様な視点やアイデアが検討の俎上に載せられ、従来であれば、避けられがちなテーマや思い切った提案についても活発な議論が繰り広げられています。こうした活動を通じて、多様な視点と気づきを施策立案のプロセスにダイナミックに取り込むとともに、部門の垣根を越えた経営視点の現場化を図ることで、各種課題への着実な対応に結び付けていきます。

サステナブル・ビジョン2030

これらの取り組みの一環として、私たちは現在、「サステナブル・ビジョン2030」の策定に取り組んでいます。「サステナブル・ビジョン2030」とは、経営理念やマテリアリティを実践するための2030年度に向けた行動目標とKPIの束であり、その活用により、ウェルネオシュガーグループのサステナビリティ経営の概要についてステークホルダーの皆さまに俯瞰いただくとともに、サステナビリティ経営に対する従業員の理解と共感を育み、グループ丸となって社会課題を解決していくための道標とすることを目指します。

サステナビリティ報告書

本サステナビリティ報告書は、ステークホルダーの皆さまへ向けてウェルネオシュガーグループのサステナビリティ経営をご報告するとともに、自らの活動を記録し、今後の取り組みに活かすことを目的として制作しました。主に「5つのマテリアリティ」のそれぞれの実績報告と今後の目標についてご紹介しています。是非ご一読いただき、当社グループの活動をご理解いただく一助となれば幸いです。

今後とも、サステナビリティ経営に対するステークホルダーの皆さまのご理解とご支援を賜りつつ、対話と協働の促進に取り組み、ウェルネオシュガーグループ丸となってサステナビリティ経営を推進することにより、社会課題を解決しながら、社会的価値と経済的価値を両立する事業を展開することで、企業価値の向上を目指してまいります。

以上

パーパス
存在意義

糖のチカラと可能性を切り拓き“Well-being”を実現する

ビジョン
目指す姿

心と体に「いいね」を

口にした瞬間広がるしあわせ、体が喜ぶひととき。
“いいね！”と誰もが微笑む瞬間のために、私たちは挑戦し続けます。
おいしさと健康、自然との調和、新しい食文化。
多様なニーズに応え、糖のチカラと可能性で、“NEO”な答えを創り出すことを約束します。
砂糖だけではない会社、それがウェルネオシュガーです。

バリュー
行動基準

挑 戦

誰もが、考え、
進歩し続ける主人公へ

「いいね」に向けて、一歩踏み出そう

ニーズが多様化する今、「もっと『いいね』はないか？」を追求する姿勢を大切にします。
既成概念にとらわれず、日々のトライ、改善、試行錯誤の一歩を踏み出します。

お客様の期待を、超えよう

私たちは、B to B to Cの事業が中心であり、エンドユーザーを想う気持ちが発想の出発点です。
お客様の声やニーズに耳を傾け、「期待を超える」という気持ちで行動します。

多 様 性

違いを強みに変える
企業文化へ

一人ひとりに、寄り添おう

年齢、性別、経験など多様な価値観が共存する中でも、風通しの良いつながりが私たちの強みです。
相手の立場に興味を持ち、個々の違いや個性に寄り添います。

異なるアイデアを、掛け合わせよう

異なる意見は、新たな「いいね」を生み出す原動力です。
自分と違うアイデアに、好奇心を持って向き合い、相乗効果を生み出します。

持続可能性

責任ある事業活動で
選ばれ続ける企業へ

信頼を、積み重ねよう

一人ひとりの行動が、ステークホルダーの皆さまからの信頼につながります。
あらゆるシーンで質にこだわり、安全安心を届けるモノづくり、共感を紡ぐ真摯なコミュニケーションを届けます。

次世代のための、選択をしよう

食に携わる者として、一人ひとりが社会や未来に貢献する責任と使命があります。
それぞれの立場から、自然環境、社会、組織、個々のキャリアに想いを馳せ、誠実に向き合います。

サステナビリティ基本方針

私たちウェルネオシュガーグループは、サステナビリティ経営の推進は、それ自体が企業の持続可能性と経営品質の向上につながるものと考えています。

当社グループは、「糖のチカラと可能性を切り拓き“Well-being”を実現する」というパーパスのもと、5つのマテリアリティ（重要課題）を特定し、それぞれのKGIを設定しました。マテリアリティに真摯に取り組むことにより、「公正で透明性の高い経営」「事業を通じたステークホルダーへの貢献」「お客様への満足と安心の提供」といった健全な企業姿勢を貫くことができると信じています。

2024年10月の完全統合を契機に、新生ウェルネオシュガーグループとしての決意を新たに、マテリアリティに基づく具体的な行動目標として「サステナブル・ビジョン2030」を策定します。サステナビリティ経営に対するグループのメンバーの理解と共感を育み、グループ一丸となってサステナビリティ活動を推進することで、社会課題を解決しながら、社会的価値と経済的価値を両立する事業を展開し、企業価値の向上を目指してまいります。

サステナビリティ推進体制

当社は、代表取締役を委員長、執行役員を主要メンバーとする委員で構成する「サステナビリティ推進委員会」を設置し、解決すべき社会課題（ESG関連事項等）の解決に向けて、全社的に取り組む体制を構築しています。なお、当委員会は経営会議の諮問機関として位置付けられており、サステナビリティ推進にかかる取り組み状況を適宜、経営会議に報告するほか、重要事項について経営会議に答申します。当該重要事項は、経営会議において審議・決定されますが、取締役会に上程すべき経営上の重要な事項については、経営会議で審議・検討の上、取締役会に付議され、取締役会において審議・決定されます。

サステナビリティ推進委員会に求められる役割は、当社の事業活動を通じて、持続可能な社会の実現および企業価値の向上を図ることであり、当委員会は、サステナビリティ推進に関する全社方針、中長期目標、重要施策等の審議・検討および各分科会の活動状況、各種施策の進捗についてモニタリングを行います。また、当社は、当委員会と「コンプライアンス委員会」、「リスク管理委員会」を有機的に連動させることでガバナンス体制を強化し、社会からの信頼に応えられるよう務めてまいります。

マテリアリティの特定および考え方

ステップ① 各種課題の抽出・分類

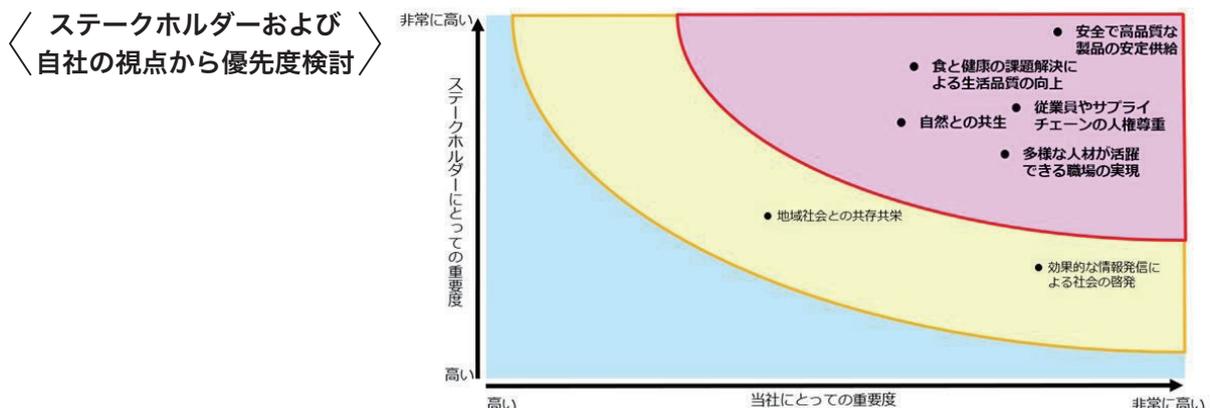
ウェルネオシュガーグループと社会にとっての課題を抽出。社会課題に対する情報収集、各部へのヒアリング、パーパス・事業戦略等を踏まえた課題抽出を実施し、テーマ別に分類。

ステップ② 重要度分析・妥当性確認

当社の経営理念や財務情報を紐付け、当社にとっての重要度を分析。
また、社外有識者へのヒアリングを通じてステークホルダーにとっての重要度を分析。
それぞれの重要度について、当社経営陣・社外有識者によって妥当性を確認。

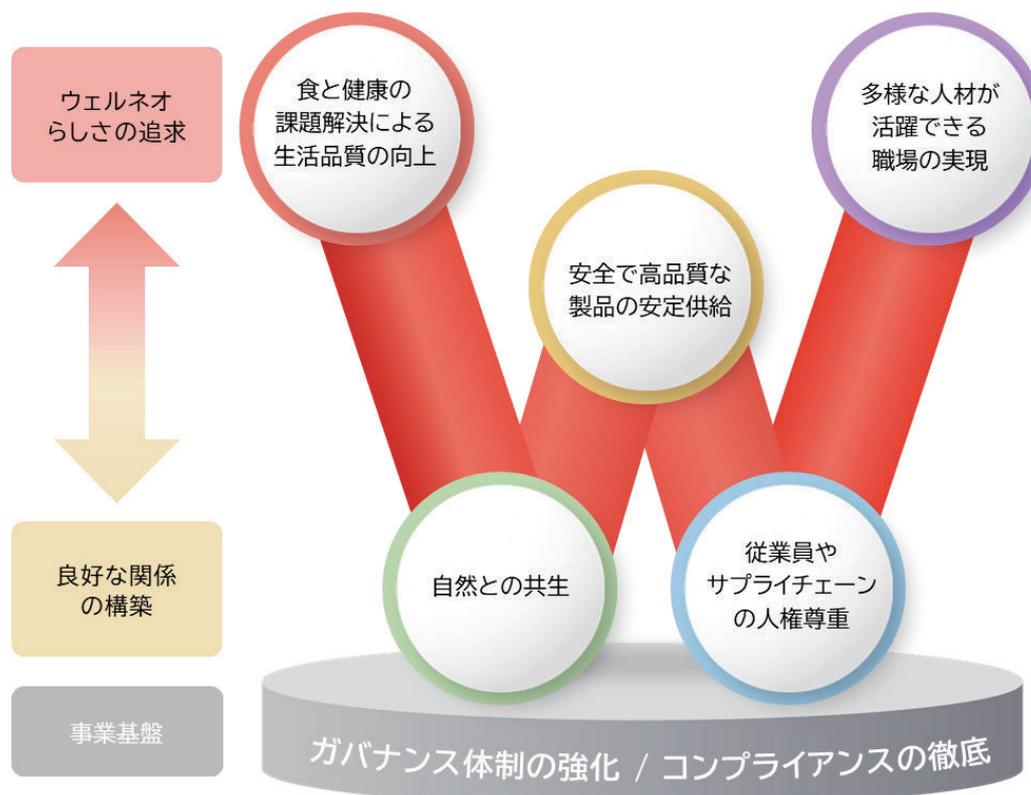
ステップ③ マッピングおよびマテリアリティの特定

ステップ②の分析を基に以下マッピングを行い、マテリアリティを特定。特定したマテリアリティは、サステナビリティ推進委員会ならびに経営会議による審議の上、取締役会により承認。



特定した5つのマテリアリティ

ウェルネオシュガーグループは、様々なステークホルダーの各種課題を“Well-being”に着目して整理し、社会環境、事業環境の変化を捉えたうえで、パーパス・事業戦略等を踏まえ、5つのマテリアリティ（重要課題）を特定しました。



< KGIと対応するSDGs >

マテリアリティ	KGI (ありたい姿)	対応するSDGs
食と健康の課題解決による生活品質の向上	おいしさと健康の両立に役立つ製品・サービスの提供によって消費者の“Well-being”に貢献	 
多様な人材が活躍できる職場の実現	職場環境の整備やエンゲージメント向上施策を通じて従業員の“Well-being”を実現	 
安全で高品質な製品の安定供給	安全で高品質な製品の安定供給によってお客様の“Well-being”を実現	 
従業員やサプライチェーンの人権尊重	従業員やサプライチェーンの“Well-being”を実現	 
自然との共生	自然環境の“Well-being”に貢献	  

食と健康の課題解決による生活品質の向上

おいしさと健康の両立に役立つ製品・サービスの提供によって消費者の“Well-being”に貢献



砂糖は紀元前からの長い歴史を持ち、人々の食と健康を支える必需品として親しまれてきました。時代が変わり、消費者のライフスタイルが多様化しても、体内でエネルギー源として使われる砂糖は健康な体づくりに欠かすことはできません。

ウェルネオシュガーでは生活必需品である砂糖の安定供給という使命を果たすとともに、マーケットインの視点を大切にして、お客様のもとへおいしさと健康に役立つ製品・サービスを提供する中で、様々なステークホルダーの“Well-being”に貢献していきます。特に、「砂糖と健康的な生活の調和がとれたソリューションの提案と実現」と「ライフステージ毎の課題解決に向けた情報発信」を通じて、消費者の生活品質の向上を目指していきます。

Sugar

ウェルネオシュガーでは「カップ印」「クルルマーク」ブランド、子会社の第一糖業株式会社では「セブン印」ブランド等の砂糖の製造・販売を行っています。多彩な商品ラインナップが特徴で、家庭用・業務用とも豊富なアイテムを取り揃えています。また、当社グループにおいて4か所ある生産拠点は、それぞれ関東地方、中部地方、関西地方、九州地方に位置し、日本各地にバランスよく配置された生産拠点で生産を行っています。



Food&Wellness

健康増進による人々の生活の質の向上に貢献するべく、フードサイエンス事業とフィットネス事業により、幅広い場面で活用される多種多様な機能性素材・サービスを提供していきます。

フードサイエンス事業

腸内・口腔フローラ（腸内・口腔内に生息する多種多様な細菌の集まり）の環境を整えることが心身の健康に寄与することに注目し、フローラを制御・デザインする様々な素材を展開していきます。カップオリゴ（ガラクトオリゴ糖）やきびオリゴ（フラクトオリゴ糖）などの腸内環境の改善に資する機能性甘味料素材については、製造能力の増強や認知度の向上と販売拡大に取り組みます。当社グループ独自のサイクロデキストラン（CI）は、オーラルケアができる環状オリゴ糖で、虫歯の原因となる歯垢の形成を抑制するものです。今後、更なる付加価値の創出に向けた研究開発にも注力していきます。

また、これまで実施してきたプレバイオティクス素材を活用した産学連携による技術開発にも引き続き取り組んでいくほか、関連会社であるツルヤ化成工業株式会社にて当社と協働し、食品添加物・高機能性食品の研究開発を進めていきます。ツキオカフィルム製薬株式会社の「可食フィルム」は、プラスチック代替素材として期待されており、今後の事業展開や連携による商品開発力の強化に推進していきます。

「沖縄・奄美のきびオリゴ」リニューアル新発売

腸内環境・便通改善に効果のある機能性表示食品「沖縄・奄美のきびオリゴ」を10月1日にリニューアル新発売いたしました。「沖縄・奄美のきびオリゴ」は、国産さとうきびを100%使用したブラウンタイプのフラクトオリゴ糖シロップです。保存料を使用せず、素材にこだわり、シンプルに「さとうきびだけ」で作りました。さとうきび本来のまるやかな甘みとコクのあるおいしさをそのままに、腸内環境を改善する機能性表示を取得しています。



フィットネス事業

当社グループ会社の株式会社日新ウエルネスにおいて、1972年に「ドゥ・スポーツプラザ」を開業するなど、業界の黎明期からフィットネス事業を展開しており、現在は関東地方において店舗を運営しています。



食育活動の展開

ウエルネオシュガーでは、砂糖について正しい情報を伝える活動を通じて、砂糖に対する理解を深め、健康で豊かな生活を支える優れた食材として砂糖をお使いいただけるよう、様々な食育活動を行っています。

- 和食文化国民会議様主催「子ども和食セッション」へのブース出展（リンク先）
<https://www.youtube.com/watch?v=8ti-1am0zJQ&t=333s>
- 小学校での食育授業の実施
- 食育サイト「SUGAR LAB」で、砂糖と関わりのある仕事をされている方を紹介する「お砂糖でつながる物語」を新設し、2名の芸術家の方への取材記事を掲載



こども食堂支援

2020年から一般社団法人全国食支援活動協力会を通じ、全国のこども食堂および地域食堂に当社製品を無償で提供し、その活動を支援しています。砂糖の配送においては物流部と連携し、現行の物流網を活用し協力会の要請に応じた細かい配送を行っています。



従業員食堂での自社製品を使ったメニューの提供

関西工場では従業員食堂で、自社製品を使用したメニューを提供しました。栄養バランスの整ったおいしい食事を従業員に提供するとともに、自社製品の理解ならびに安全な製品づくりの重要性の再確認を行っています。



多様な人材が活躍できる職場の実現

職場環境の整備やエンゲージメント向上施策を通じて従業員の“Well-being”を実現



ウェルネオシュガーグループでは、従業員が健やかに働き、高い生産性を発揮できるよう、会社として安全かつ働きやすい職場環境を整えることを重視しています。また、多様な人材が活躍できるよう、様々な制度や研修を整備し、従業員の成長を支援しています。

働きやすい・働きがいのある会社

ウェルネオシュガーグループは、行動規範・行動指針に「働きやすく働きがいのある会社（楽しく真剣に仕事をする）」として以下を定めています。

- (1) 多様性の尊重
- (2) 成果に応じた公平な処遇
- (3) 風通しの良い企業風土
- (4) 仕事に対する誇りと責任
- (5) 安全・安心で衛生的な職場環境
- (6) 健康づくりの推進

人権の尊重

ウェルネオシュガーグループは、「国際人権章典」（国連）および「労働における基本的原則および権利に関する宣言」（ILO宣言）を支持、尊重し、国連の定める「ビジネスと人権に関する指導原則」に基づく人権尊重への取り組みを推進しています。現在は従来の「人権方針」を見直し、再考することにより従業員の人権意識の向上につなげています。

多様性の確保

多様性はイノベーションや新しい価値創造の源泉であることから、経営層や中核人材だけでなく、社内においては、年齢・性別等に関わらず多様性が確保されることが極めて重要であると認識しています。これからも女性やキャリア採用者等の管理職登用を増やし、中核人材の多様性の確保に努めていきます。また、DE&I（多様性、公平性、包摂性）を推進し、心理的安全性と相互信頼が高く、挑戦を支援する文化の浸透を図っていきます。従業員の自律的なライフキャリアを支援することで、パフォーマンスを持続的に発揮し続ける働き方を推進し、全従業員が活躍できる「選ばれる会社」を目指しています。

安全衛生

職場内の整理整頓、清潔清掃に配慮するとともに、安全衛生に関する研修等の実施、衛生委員会による啓蒙・環境整備活動、安全衛生に関する規則の整備等、災害の予防、衛生管理を適切に行える仕組みを整備することにより、安全・安心で衛生的な職場環境づくりを推進しています。

ウェルネオシュガーグループでは、6か月に1回安全管理情報連絡会を開催し、労働災害に関する情報交換や、主に工場で発生したヒヤリハットの情報共有を行い、職場の労働安全衛生の維持・向上に努めています。

ハラスメント対策

人権に関する法令と社会規範を遵守します。労働における基本的原則および権利を尊重し、サプライチェーンにおける児童労働や強制労働を排除し、事業活動における人権侵害を行わず加担することもないよう、社内啓発に努めています。とりわけハラスメントについては、ハラスメント防止規程、ハラスメント対応の基本方針および内部通報取扱規程の制定、第三者機関を窓口とする外部相談窓口を設置するなど、従業員が安心して仕事に従事できる職場環境づくりに取り組んでいます。また、ハラスメントのみならず広く人権尊重に関する教育研修を定期的実施し、従業員の意識向上につながる取り組みを推進しています。

健康づくりの推進

従業員の健康を経営的な視点で捉え、健康の維持・増進を支援しています。従業員が健康でやりがいを持って働くことのできる職場環境を整備することで、従業員の活力向上や生産性向上等を通じた組織活性化につながると考えています。定期健康診断の受診やストレスチェックの実施、労働時間や休暇の見直し等を行い、社内コミュニケーションの促進を図っています。

教育研修制度

従業員が最新の知識や技術を習得することで、業務の効率化や仕事の質の向上が期待できます。また教育研修を通じて創造的な仕事や挑戦的なプロジェクトに取り組んだり、自身の能力を試し新たな可能性を開拓したり、自己成長を感じることによって従業員のモチベーションが高まり、自らの成長を実感できる職場環境は離職率の低下にもつながります。ウェルネオシュガーでは、業界特有の法令や規制に基づいた研修をはじめ、多種多様な研修プログラムを用意しています。新入社員研修／フォローアップ研修／階層別研修／外部研修／人権啓発研修／自己啓発支援制度（通信教育・語学学校通学・資格取得試験・書籍購入等の費用援助／オンライン英会話受講料全額補助）他

福利厚生

ウェルネオシュガーグループでは、様々な角度から従業員の生活を支援できるよう、福利厚生の充実に取り組んでいます。社会保険完備（健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険）／独身者用・交替勤務者用借上社宅制度／住宅融資制度／社員持株制度／財形貯蓄制度／確定給付・確定拠出企業年金／会員制福利厚生倶楽部／グループ会社のスポーツクラブ利用／クラブ活動（ランニング部・野球部・水泳部・釣り部・スキースノーボード部・テニス部 他）／社内イベントの開催他

安全で高品質な製品の安定供給

安全で高品質な製品の安定供給によって
お客様の“Well-being”を実現



ウェルネオシュガーグループで製造する砂糖は、原材料として国内外から調達した原料糖を使用しています。産地により色などの性状が異なる原料糖から常に同じ品質の砂糖を製造するために、工場徹底したプロセス管理を行うとともに、全社的な品質管理体制を整え、お客様に対し生活必需品である安全な砂糖を安定的に供給することで、社会的責任を果たしてまいります。

品質方針

提供する製品とサービスについての安全性の担保と品質の維持・向上を図ることを目的に従来から品質方針を定めています。

今後は、品質方針をグループ展開し、ウェルネオシュガーグループとして新たな技術や設備・機器の導入ならびに運用改善に向けた検討を積極的に行い、より質の高い製品とサービスをお客様にお届けします。

食品安全・品質認証の取得について

ウェルネオシュガーグループでは、国際規格のFSSC22000（食品安全マネジメント）やISO9001（品質マネジメント）の認証を取得し、品質管理の徹底、継続的改善への取り組みにより、安全な製品・サービスの提供に努めています。

中部工場 ISO9001（品質マネジメント） 登録日：2002年8月23日
FSSC22000（食品安全マネジメント） 登録日：2012年4月19日

関西工場 FSSC22000（食品安全マネジメント） 登録日：2016年3月11日



品質に関する情報交換会議の開催

品質向上に向けた取り組みの一つとして、各工場の品質関係実務者により、情報交換会議を定期的で開催しています。品質管理に関する各工場の改善活動やノウハウの共有等を行い、安全に関する意識ならびに技術の向上を図っています。

お客様にご満足いただくために ～お客様相談室の取り組み～

お客様からの商品に関する様々な声を真摯にお聴かせいただく場として、当社ではお客様相談室を設けています。お客様相談室では、関係部門と連携して商品に関する知識の情報収集・整理を行うほか、接遇についても日々研鑽に努め、一人ひとりのお客様にご満足いただけるよう、「適時に」、「誠実に」、「丁寧に」、を基本にお客様の声への対応を行っています。また、いただいた声はセキュリティシステムを備えた自社のシステムに全て入力し、関連部門と共有・連携することにより商品の品質向上に役立てるとともに、商品に関してご指摘をいただいたお客様へは、報告時に私どもの対応についての満足度を伺うアンケートを実施し、お客様相談窓口の対応品質の向上にも努めています。

品質監査(自社、委託先)の実施

自社内部監査ならびに、委託(生産)先の品質監査を定期的に行っています。監査で得られた情報は集約・分析された後、グループ全体で共有・展開し、「安全」を追求した「安心」いただける活動を継続しています。

フードディフェンスの強化

以下の食品安全管理体制の整備を各工場で行い、フードディフェンスの強化を行っています。

- 敷地境界、工場構内に防犯カメラ、防犯センサーを設置
- 常駐警備による入出場管理、不審者等への警戒、敷地内の監視・巡回
- 原料糖の搬入から最終製品まで、人の手の触れることのない中央制御システムと24時間体制の監視



質の高い製品とサービスをお客様にお届けする使命に誇りを持ち、新たな技術や設備・機器の導入ならびに運用改善に向けた検討を積極的に行い、製品・サービスの更なる品質向上に日々努めていきます。

従業員やサプライチェーンの人権尊重

従業員やサプライチェーンの“Well-being”を実現



企業には、従業員／社員や取引先、お客様や地域社会をはじめ自社の事業活動に関わるすべての方々の人権を尊重する倫理的責任があります。これには、児童労働や強制労働の排除、安全で健康的な労働環境の維持管理が含まれます。企業はサプライチェーン全体で人権を尊重する取り組みを行うことが重要です。ウェルネオシュガーグループは、人権を尊重し、企業としての信頼を高め持続可能な発展を促進することにより、サプライチェーン全体で相互理解を深めていきたいと考えています。

原料糖の調達

当社の砂糖製品は主に粗糖と呼ばれる原料糖から作られます。オーストラリアやタイなど海外から輸入する原料糖のほか、鹿児島県や沖縄県のサトウキビ、北海道のてん菜（ビート）から作られる国内の原料糖も使用しています。

海外原料糖は、総合商社を通じて輸入しています。サトウキビの生産は環境への負荷が小さく、収穫作業においては機械化が進み環境問題や労働問題に対する懸念は低くなっています。当社は原料糖調達先の総合商社を通じて必要な情報を収集しながらリスク分析を行い、バイヤーとしての社会的責任を果たしています。



責任ある原材料調達

当社は、原料糖や包装材料等の購買・調達において社会的責任を果たすべく「調達方針」を定め、人権や環境にも配慮したサプライチェーンマネジメントを展開しています。上流のサプライヤーである取引先には「調達ガイドライン」を提示し、下流パイヤーも含めたバリューチェーン全体の最適化も視野に、サプライヤーの理解と協力を得るとともに、アンケート調査を実施しながら持続可能な調達を推進していきます。

人権デューデリジェンスの実施

当社は、国連人権指導原則の一つである「人権を尊重する企業の責任」を果たすべく、「人権方針」を定め、人権尊重に関する当社の考え方や行動原則を明確にしています。人権デューデリジェンスの仕組みを通じて、事業活動が人権に及ぼす負の影響を特定し、その防止と軽減に取り組んでいきます。

Sedex (Supplier Ethical Data Exchange)

当社の中部工場および関西工場は、Sedexに B会員として加入し、Sedexのツールやサービスの利用を通じて、責任ある倫理的なビジネスの実践を推進しています。今後は、他の事業所にも対象範囲を拡げていく予定です。

Sedex について

Sedexは、グローバルサプライチェーンにおける倫理的で責任ある事業慣行の実現を目指し、サプライチェーンデータを管理・共有する世界最大のプラットフォームを持つ会員制組織（非営利団体）です。

自然との共生

自然環境の“Well-being”に貢献



砂糖の製造においては、特に精製糖の製造プロセスで大量のエネルギーを必要とするため、省エネルギーや高効率の設備の導入は重要な課題です。また、海外および国内からの原料糖の輸送や製品としての砂糖の輸送については、環境に対する負荷を低減するため、効率のよい物流の実現が求められます。ウェルネオシュガーグループは自然の恵みの恩恵を受け一方で、事業活動が自然環境に与える影響を常に自覚しながら自然と共生していくことが重要であると認識しています。

気候関連財務情報開示タスクフォース

ウェルネオシュガーは、気候変動問題を最も注力すべき領域としており、その実践として、気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) の提言に沿った適切な情報開示を行っています。

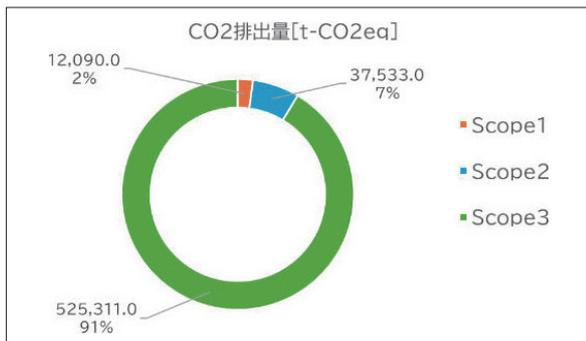
- 【シナリオ分析】
- 気候変動（平均気温の変化）に伴う、精製糖事業における想定されるリスクの洗い出し
 - 気候変動リスク軽減への取り組み
 - 気候変動リスク軽減を事業機会とするための取り組み

気候変動イニシアティブへの参画

2019年から気候変動イニシアティブ (Japan Climate Initiative) に参加しています。気候変動イニシアティブは、一般社団法人 CDP Worldwide-Japan、公益財団法人世界自然保護基金 (WWF ジャパン)、公益財団法人自然エネルギー財団が事務局を担当。日本において企業や自治体、NGOなどの情報発信、情報交換を強化し、脱炭素社会の実現を目指すネットワークです。

温室効果ガスの測定

ウェルネオシュガーでは、気候変動問題に対し、温室効果ガス排出量削減による環境負荷の低減が重要な責任であると認識し、2023年度の温室効果ガス排出量算定を実施しました。事業活動に伴い排出される温室効果ガス排出量を把握することで課題を明確化し、対策を立案・実行することで、ESG投資等への要請にも積極的に対応していきます。



Scope/カテゴリ			2024年3月期 CO2排出量 [t-CO2eq]	割合 (%)
Scope1			12,090.0	2.1%
Scope2			37,533.0	6.5%
Scope3			525,311.0	91.4%
上流	カテゴリ1	購入した製品・サービス	398,626.3	75.9%
	カテゴリ2	資本財	2,783.1	0.5%
	カテゴリ3	Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動	19,906.1	3.8%
	カテゴリ4	輸送、配送 (上流)	96,996.6	18.5%
	カテゴリ5	事業から出る廃棄物	1,321.7	0.3%
	カテゴリ6	出張	47.2	0.0%
	カテゴリ7	雇用者の通勤	266.7	0.1%
	カテゴリ8	リース資産 (上流)	82.9	0.0%
下流	カテゴリ9	輸送、配送 (下流)	4,272.7	0.8%
	カテゴリ10	販売した製品の加工	算定対象外	-
	カテゴリ11	販売した製品の使用	算定対象外	-
	カテゴリ12	販売した製品の廃棄	1,007.7	0.2%
	カテゴリ13	リース資産 (下流)	算定対象外	-
	カテゴリ14	フランチャイズ	算定対象外	-
	カテゴリ15	投資	算定対象外	-
合計			574,934.0	100%

※対象：ウェルネオシュガー(株)

資源の使用量の削減、再利用

事業活動で使用する原材料、副資材、エネルギー等は、限りある貴重な資源であり、可能な限り使用量の削減や再利用に取り組みます。

工場では不要になったものを再利用する“リサイクル”だけではなく、フレキシブルコンテナバッグ、樹脂パレットなどの資源を有効に循環させて使う“リユース”を推進しています。また、使用したクラフト紙袋はサプライヤーを通じて、段ボール原紙として再生するなどの取り組みを継続しています。



使用済みクラフト紙袋がベルトコンベヤで運ばれ、パルパーに投入され溶解（離解）されます。

水の有効活用

精製糖の製造では大量の水を使用します。ウエルネオシュガーでは、排出時の基準を満たすことはもちろんのこと、水使用量のモニタリングを行い、削減を目指してまいります。

廃棄物の処理

工場から発生する廃棄物の大部分を占める「ライムケーキ」は、95%以上をリサイクルしています。その他、廃プラスチック類、紙くず、金属くず等については、適切に処理し法令に基づき行政に報告を行っています。

太陽光発電設備の導入

千葉工場ではPPAモデルによる太陽光発電設備を導入し、事業所で使用する一部の電力を再生可能エネルギーに置き換えました。年間約260,000kWhを発電し、CO2排出量100トン以上の削減（化石燃料由来の電力との比較）に相当します。



その他各拠点における省エネ活動

- 全ての営業車をハイブリット車両化
- 電動型バッテリー式フォークリフトの利用による温室効果ガスの削減
- 物流における出荷トラック予約システム導入、アイドリング時間減少による温室効果ガスの削減
- 各工場で使用されているモーターのインバーター化
- タブレット端末などOA機器活用や経費システムのデジタル化による紙使用量の削減
- LED照明への切り替え推進
- 通年で節電対策を実施するとともに、働き方改革の一環として「ノーネクタイ、ノー上着」の実施
- 海洋プラスチックごみ再生樹脂を使用したオフィスチェアを導入（1脚あたり約2.3kg、あわせて約425kgの海洋プラを使用したオフィスチェアを導入）

ガバナンス体制の強化／コンプライアンスの徹底

コーポレート・ガバナンス

ウェルネオシュガーは、株主をはじめ顧客・従業員・地域社会等のステークホルダーから信頼、支持され続けるためには、中長期的な企業価値の向上に努めるとともに、社会的な責任を果たし、持続的な成長、発展を遂げていくことが重要であると認識し、これを実現するために、常に最良のコーポレート・ガバナンスを追求し、その充実に継続的に取り組むことを基本方針としています。

当社は、持続的な成長および中長期的な企業価値の向上を図るためには、公正で透明性の高い経営を実践するとともに、保有する経営資源を有効に活用し、経営環境の変化に迅速に対応し果敢な意思決定ができる組織体制を構築、維持することが重要であると考え、次に掲げる基本的な考え方に沿って、コーポレート・ガバナンスの充実に取り組んでいます。

- ①株主の権利および平等性を確保します。
- ②ステークホルダーの利益を考慮し、ステークホルダーと適切に協働します。
- ③会社情報を適切に開示し、透明性を確保します。
- ④取締役、監査役、独立役員それぞれの役割および責務を認識し、その実効化を図ります。
- ⑤中長期的な株主の利益と合致する投資方針を有する株主との間で建設的な対話を行います。

現在、取締役・取締役会と監査役・監査役会を中心とした体制を構築しており、取締役会において経営の重要な事項の審議・決定、職務執行状況の監督を行い、監査役会にお

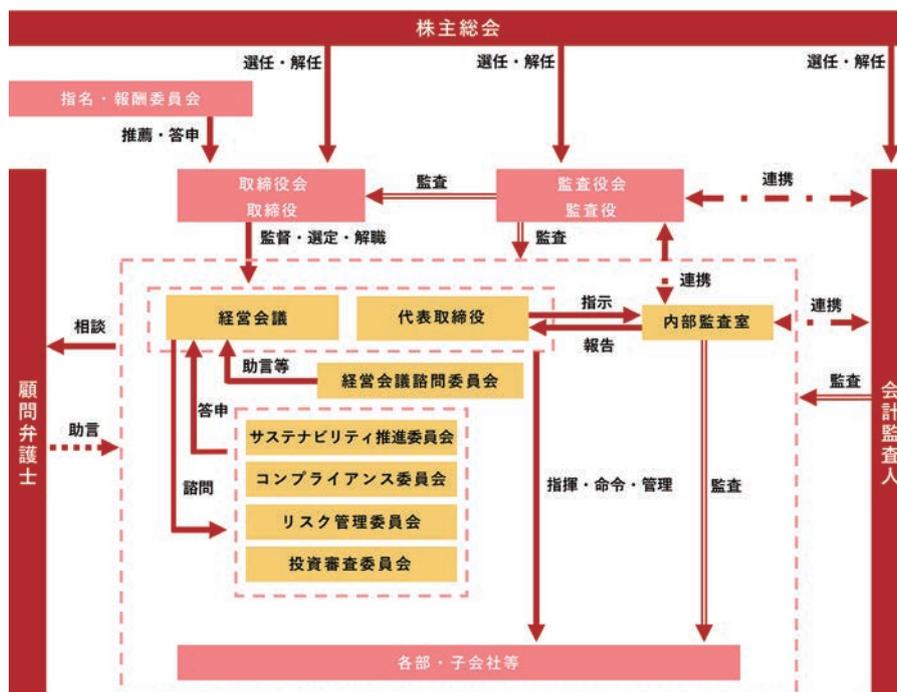
いて代表取締役および業務執行取締役の職務の遂行を監査することにより、経営監視機能の充実を図っています。さらに、取締役9名のうち5名を社外取締役とし、またそのうち3名を独立社外取締役とすることにより、経営に多様な視点を取り入れるとともに、経営の透明性、公正性を向上させています。また、監査役4名のうち2名を公認会計士や弁護士などの専門的な知見を有する社外監査役にすることにより、独立した立場からの監査を確保し、監査機能の強化を図っています。

コンプライアンス

ウェルネオシュガーでは、取締役等および使用人の職務の遂行が法令および定款に適合することを確保するための体制の基礎として、「行動規範・行動指針」および「コンプライアンス規程」を定め、コンプライアンス委員会を設置し、コンプライアンス体制の確立を図っています。また、内部監査により、コンプライアンスの状況の監査も行っています。

リスクマネジメント

ウェルネオシュガーでは、リスク管理体制の基礎となる「リスク管理規程」を定め、会社横断的なリスク管理のためのリスク管理委員会を設置し、個々のリスクについての管理担当部を定め、同規程に則ったリスク管理体制を確立しています。



ウェルネオシュガー データ

*2021年度までは日新製糖の数字

指 標	2021年度	2022年度	2023年度
取締役会			
取締役数	6 人	9 人	9 人
社内	3 人	4 人	4 人
男性	3 人	4 人	4 人
女性	0 人	0 人	0 人
社外	3 人	5 人	5 人
男性	2 人	4 人	4 人
女性	1 人	1 人	1 人
取締役会開催回数	14 回	17 回	16 回

日新製糖 データ

指標	2021年度	2022年度	2023年度	備考
エネルギー				
CO2排出量(合計)	16,907 t-CO2	16,138 t-CO2	15,392 t-CO2	全事業所
本社部門 (Scope1、2)	352 t-CO2	361 t-CO2	347 t-CO2	本社・千葉地区・営業所
今福工場 (Scope1、2)	16,555 t-CO2	15,777 t-CO2	15,045 t-CO2	今福工場
水資源				
使用量(計)	261 千m ³	259 千m ³	265 千m ³	今福工場
上水	48 千m ³	51 千m ³	48 千m ³	今福工場
工業用水	213 千m ³	208 千m ³	217 千m ³	今福工場
排出量(放流先:下水)	153 千m ³	155 千m ³	162 千m ³	今福工場
排出量				
廃棄物量	2,528 t	2,345 t	2,317 t	今福工場
埋立・焼却量	75 t	48 t	57 t	今福工場
廃棄物リサイクル率	97.0 %	97.9 %	97.5 %	今福工場
その他				
ハイブリッド車両比率	97.0 %	97.0 %	100.0 %	日新製糖全事業所

※ 上記CO2排出量は、日新製糖単体の自社排出(サプライチェーン排出量、Scope1、2)を集計したもので、その他の間接排出(Scope3)は含みません。

指標	2021年度	2022年度	2023年度	備考
雇用				
従業員数	260 人	259 人	256 人	
(うち臨時従業員数)	0 人	0 人	0 人	
平均年齢	44.0 歳	43.8 歳	44.2 歳	
平均勤続年数	19.3 年	19.0 年	19.0 年	
新卒採用人数(合計)	4 人	7 人	3 人	
新卒採用人数(男性)	4 人	5 人	1 人	
新卒採用人数(女性)	0 人	2 人	2 人	
新卒採用者定着率	100.0 %	87.5 %	75.0 %	入社3年後定着率
キャリア採用人数(合計)	9 人	3 人	5 人	
キャリア採用人数(男性)	7 人	1 人	3 人	
キャリア採用人数(女性)	2 人	2 人	2 人	
全体採用人数に対するキャリア採用人数の割合	69.2 %	30.0 %	62.5 %	※改正労働施策総合推進法対応
採用におけるコスト	17,763 千円	4,533 千円	7,884 千円	
離職率	0.8 %	0.8 %	2.3 %	定年退職、嘱託期間満了嘱除く
多様性				
社員における女性の割合	24.6 %	24.3 %	25.9 %	
管理職社員における女性の割合	6.3 %	6.4 %	6.1 %	
定年再雇用率	70.0 %	100.0 %	100.0 %	
障がい者雇用率	2.63 %	2.31 %	2.38 %	
職場環境				
一般社員の実労働時間(年間)	1,964.9 時間	1,953.6 時間	1,919.2 時間	
一般社員の所定外時間労働(月平均)	20.5 時間	19.3 時間	16.9 時間	
有給休暇取得率	48.6 %	51.1 %	55.8 %	
育児休業取得者数(合計)	6 人	4 人	5 人	
育児休業取得者数(男性)	1 人	4 人	2 人	
育児休業取得者数(女性)	5 人	0 人	3 人	
育児短時間勤務者数	2 人	3 人	2 人	
教育・研修				
教育・研修費	8,668 千円	8,842 千円	11,723 千円	
教育・研修費(一人当たり)	33 千円	34 千円	46 千円	

伊藤忠製糖 データ

指 標	2021年度	2022年度	2023年度	備 考
エネルギー				
CO2排出量(合計)	34,929 t-CO2	35,224 t-CO2	34,229 t-CO2	
伊藤忠製糖 本社(工場 Scope1、2)	34,929 t-CO2	35,224 t-CO2	34,229 t-CO2	
水資源				
使用量(計)	539 千m ³	549 千m ³	537 千m ³	
上水	0 千m ³	0 千m ³	0 千m ³	
工業用水	539 千m ³	549 千m ³	537 千m ³	
排出量(放流先:海)	449 千m ³	466 千m ³	452 千m ³	
排出量				
廃棄物量	3,792 t	3,804 t	2,960 t	
埋立・焼却量	7 t	12 t	2 t	
廃棄物リサイクル率	98.4 %	98.0 %	99.9 %	
その他				
ハイブリッド車両比率	58.3 %	36.4 %	36.4 %	
※ 上記CO2排出量は、伊藤忠製糖単体の自社排出(サプライチェーン排出量、Scope1、2)を集計したもので、その他の間接排出(Scope3)は含みません。 ※ 上記排水は、衣浦ユーティリティで排水処理をした後、海に放流しています。				
指 標	2021年度	2022年度	2023年度	備 考
雇 用				
従業員数	90 人	93 人	96 人	
(うち臨時従業員数)	0 人	0 人	0 人	
平均年齢	38.5 歳	39.2 歳	39.5 歳	
平均勤続年数	15.4 年	15.6 年	16.0 年	
新卒採用人数(合計)	4 人	2 人	2 人	
新卒採用人数(男性)	2 人	1 人	1 人	
新卒採用人数(女性)	2 人	1 人	1 人	
新卒採用者定着率	100.0 %	100.0 %	100.0 %	入社3年後定着率
キャリア採用人数(合計)	2 人	1 人	3 人	
キャリア採用人数(男性)	1 人	1 人	0 人	
キャリア採用人数(女性)	1 人	0 人	3 人	
全体採用人数に対するキャリア採用人数の割合	33.3 %	33.3 %	60.0 %	※改正労働施策総合推進法対応
採用におけるコスト	2,383 千円	583 千円	2,686 千円	
離職率	0.0 %	0.0 %	1.0 %	定年退職、嘱託期間満了了解嘱除く
多様性				
社員における女性の割合	30.0 %	30.1 %	30.2 %	
管理職社員における女性の割合	0.0 %	0.0 %	8.1 %	
定年再雇用率	%	%	%	定年退職者なし
障がい者雇用率	2.00 %	0.99 %	0.97 %	
職場環境				
一般社員の実労働時間(年間)	1,981.0 時間	1,980.0 時間	2,002.0 時間	
一般社員の所定外時間労働(月平均)	13.8 時間	14.4 時間	14.4 時間	
有給休暇取得率	59.6 %	64.0 %	67.9 %	
育児休業取得者数(合計)	2 人	2 人	4 人	
育児休業取得者数(男性)	0 人	0 人	3 人	
育児休業取得者数(女性)	2 人	2 人	1 人	
育児短時間勤務者数	4 人	4 人	5 人	
教育・研修				
教育・研修費	3,957 千円	3,394 千円	5,034 千円	
教育・研修費(一人当たり)	44 千円	36 千円	52 千円	

会社概要

会社概要 2025年3月1日現在

商号	ウェルネオシュガー株式会社 WELLNEO SUGAR Co., Ltd.
本店所在地	〒103-8536 東京都中央区日本橋小網町14-1 住生日本橋小網町ビル
代表者	代表取締役会長 仲野 真司／代表取締役社長 山本 貢司
設立	2011年10月3日(2023年1月1日 日新製糖株式会社より商号変更)
事業内容	砂糖その他食品の製造販売
資本金	70億円

グループ会社一覧 (連結子会社)

社名	現住所	事業内容
第一糖業株式会社	〒883-0062 宮崎県日向市日知屋17371	精製糖の製造および販売
新豊食品株式会社	〒261-0002 千葉県千葉市美浜区新港52	砂糖等の加工、包装
ツキオカフィルム製薬株式会社	〒509-0109 岐阜県各務原市テクノプラザ2-11	箔押加工、食用純金箔製造販売、可食フィルム(食品、医薬品、化粧品)製造販売
日新サービス株式会社	〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町14-1 住生日本橋小網町ビル	食品用包装材料、合成樹脂の仕入れ販売
シー・アンド・エス・サービス株式会社	〒447-0834 愛知県碧南市玉津浦町3番地 (当社中部工場構内)	工場・事務所の清掃業、運送代行業、保険代理業 その他
株式会社日新ウェルネス	〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町14-1 住生日本橋小網町ビル	フィットネスクラブの運営等の健康産業事業、保険代理業
ニューポート産業株式会社	〒261-0002 千葉県千葉市美浜区新港50	冷蔵倉庫業、港湾運送業

ウェルネオシュガーの事業拠点



【編集方針】

ウェルネオシュガー株式会社／日新製糖株式会社／伊藤忠製糖株式会社
対象期間：2023年4月～2024年3月（一部直近の活動を含みます）

ウェルネオシュガー株式会社



<本報告書に関するお問い合わせ先>

〒103-8536 東京都中央区日本橋小網町14-1

ウェルネオシュガー株式会社

TEL 03-3668-1120 (経営企画部)